

家屋を脅かす動植物

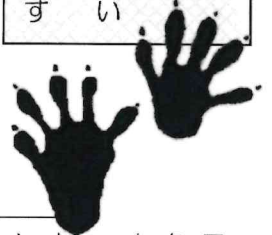
まごひち瓦版

ライフスタイルに関する情報をもっと知りたい
貴方にお届けする地元企業発行のかわら版です

動物

弊社にかかってくるご依頼の中に生き物関連のものが増えています。羽音が聞こえるだけで危険を感じるスズメバチや木材を食べて家をボロボロにするシロアリの場合は、専門業者さんがありますので弊社への依頼はほとんどありません。年に何件かご相談があるのは「屋根の隙間や屋根裏に小動物が入り込んでいるので見てほしい」というご依頼。施主様が気にされている箇所や屋根裏を調査させて頂くと、侵入口と思われる場所周辺にそれほど古くない糞やオシッコの跡があったり、屋根裏の決まった場所が溜め糞の場所にされていたりします。

相性がいいなんて言うのが、雨が防げる場所です。心して巣作り出来るのですから、鳩には願ったり叶ったりの場所です。太陽光設備の下に入れない対策がされると、鳩は別の太陽光発電のある屋根へと引っ越して巣を作ります。屋根の上という見つけ難い場所ですので、水面下ではかなりの被害数があると思われまます。屋根裏の同居生物でよく聞くのは『コウモリ』『猫』『ネズミ』。生体を見ることはあまりないですが、ニユース性が高いのは『アライグマ』『ハクビシン』といったところでしょうか。タヌキ、イタチ等は手足の形状から屋根裏に入り込むことはまずありません。



子育て中の『猫』の場合、危険を感じると早々に退去します。無賃入居がバレていることを音をたてたりして教えてやりましょう。

侵入口を塞ぐ場合、閉じ込めた状態で塞いでしまおうと中で死んでしまします。コウモリやアライグマ等の野生動物は無許可での捕獲及び飼育が禁じられています。侵入口付近に低毒性で刺激臭のある木酢液などの液を撒いておくとか、超音波を出すことで障害物を避けて飛ぶコウモリであれば、飛び難くなるように、侵入口付近に音を乱反射させるものや吊っておくのも効果があるようです。捕獲する事が出来なくても、「住みにくい場所」と感じれば自主的に退去していくと思われまます。弊社では小動物の侵入口を塞ぐなどの施工をさせて頂きます。いづれの生動物の場合も、糞尿による悪臭や家屋の汚れ、衛生面の問題、また爪による家屋への傷などが深刻にならないように対処したいですね。

植物



建造物をお洒落に見せてくれ、緑化に役立つ植物にも驚きの生命力と繁殖力がありまます。全国的に増加中の空家。家人が住んでいないのを感じるの、家屋周りの道路際に雑草が増え、玄関へのアプローチや庭に樹形の乱れた庭木や背の高い雑草が目立つ頃ではないでしょうか。



完全な空家ではなく、家主さんが春から数か月ほど家を空ける間、繁殖力の強いツタ系植物を水・土・日差しに恵まれた場所に放置しておくと、塀や家屋が青々としたツタに覆われてしまふ姿は、野生動物による被害よりも目立つのではないのでしょうか。地下に向けて根を張る雑草と異なり、ツタ系の植物は気根を上にも伸ばし、樹木の幹、岩コンクリート塀や外壁に簡単に根を張って成長していきます。隙間があれば家屋内部にも侵入してきます。当然ですが雨漏りの原因になります。成長したツタは引っ張ると簡単に引きはがせるのですが、しっかりと根が張っていたり、家屋が老朽化している場合、コンクリートや塗装、外壁も一緒に剥がれてしまふ事があります。繁殖力の強い植物を育てる場合、必要以上に伸び過ぎないように定期的に樹形を整えるのも大切な家屋を守る手段です。

嘘のような話ですが：：百円均一で買った観葉植物の処理に数十万費やすという事もあるようです。